

令和五年度新宮地域人権のつどい

私たち一人ひとりは、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題を解決し、差別がない誰もが幸せな社会を実現していかなければなりません。人権問題の解決を地域課題として受け止め、「自分」を主語にした人権・同和教育を推進するために、令和五年度新宮地域人権のつどいを実施しました。参観授業後の公演会の内容は、毎年、新宮公民館・新宮幼稚園・新宮小中学校が話し合い、テーマを設けて実施しています。

まず、新宮幼稚園・小学部・中学部それぞれの特色を生かした参観授業を行いました。

【新宮幼稚園】
「おばさんたちの願い」
絵本の読み聞かせ、歌、オカリナの演奏

【小学部】
1年 「みんな いっしょ」
2年 「ともだちやもんな、ぼくら」
3年 「みさきさんのえがお」
4年 「ドッジボール」
5年 「転校生がやってきた」
6年 「ばかじゃん！」
うめ組 「話そう！聞こう！」

【中学部】
1年 「その言葉、赤・青・黄、どれ？」
2年 ドラマ「コウノドリ」から考える
3年 「無実の罪」



○ 誰に対しても、分け隔てしないで、公平にすることが大切だと学習しました。私は、学校で友達と遊ぶとき、仲良くしないといけないなど思っていますが、時々言い争いになることがあります。そんなときには、相手が誰でも、きちんとやさしく話せるようにしたいです。

○ 僕は、毎日いろいろなところで人と触れ合ったり、相手の気持ちを考えたりすることが大切だと思いました。これからも友達を大切にしていきます。

○ 私は今まで、友達や家族に何も考えずに言ってしまうことがありますが、気付かない間に相手を傷付けていたり、思い込んでしまったりしていたんだと思います。相手が友達だったとしても言葉に

参観授業後の児童・生徒の感想

気を付けたいです。

○ 命の重さや大切さを知っているからこそ、どのように行動するかを考えなければならぬと思います。命のリスクなどにも向き合っていかなければならないと思います。自分の命も他の人の命も守り、つなぎ、どう輝かせていくのかを考えながら過ごしたいです。

○ 今日の授業で自分の考え方が変化しました。毎回すべての危険を避けていたら会話もままならないので、相手の立場に立つことが大切だと思いました。「常識」は、法律のように決められたものではなく、その人の考えや感性です。常識を振りかざして、自分の感性で相手を無意識に縛りつけないようにしたいです。

○ 一人ひとり違うのだから、その人に合った言葉を選んで発言することが、相手にとって一番良い方法ではないかと思いました。



参観授業後は、癒しの音楽 キャンドルさんによる「愛といのち」をテーマにした公演（コンサート）を行いました。自他の命を大切にしてほしいという願い、我が子に対する母の思いが込められた歌詞や言葉を、美しく温かい歌声で私たちに届けてくれました。また、児童生徒や教職員が歌ったり、踊ったりできる演奏もあり、一人ひとりの心に残る、素敵な時間でした。

公演（コンサート）後の感想

【児童・生徒】

○ 私は、キャンドルさんのコンサートを聴いて、心に残った言葉があります。それは、「笑顔が幸せを呼ぶ」です。だから、私もたくさん笑って笑顔でみんなといたいなと思いました。また、音楽の力のすごさに気付くことができました。キャンドルさんの音楽を聴いて、自然と楽しい気持ちになりました。

○ 僕は、コンサートを聴いて、一番心に残った言葉は、「歩」とは、疲れたときは、一度立ち止まって周りを見て、少しずつ歩く

です。また、歌を聴いて心がホッとしたり、今までの自分を振り返ったりすることができました。

○ 「あなたは私の奇跡、あなたは私の希望」という歌詞から、大切な人を想う気持ちが伝わってきました。



○ 明るくて前向きになれる曲を聴いて、心が温かくなりました。ダンスやピアノ、楽器、拍手などを通して、一つの曲で一体感が生まれて、自然と笑顔になりました。これからも、笑顔で明るい生活をしていきたいです。

○ 今回コンサートを聴いて、とてもやさしい気持ちになりました。歌ってくださった三人の思いを感じながら聴くことができました。音楽を通して、人の温かさや命の大切さを実感することも幸せだなと思いました。

【保護者・参加者】

○ 音楽はとて素晴らしいですね。心が癒されま

した。「笑顔が幸せを呼ぶ」という言葉は、とても印象に残りました。自分自身にも子どもにも、笑顔を大切にする心を心掛けていこうと思いました。

○ 生演奏の心地よい歌声とピアノの音色、聴いたことがある曲が重なって共感が生まれたのか、体育館が徐々に温かいほんわかな空気に包まれました。穏やかな気持ちになりました。

○ ハーモニーがとても素敵でした。「ふるさとの色」は好きな曲だったので、家に帰って音譜を見ながらピアノを弾いて、子どもと一緒に歌いました。音楽っていいなあ。

生活すべての場面で、美しいものには美しい、間違っていることには間違っていると一言ずらにはいられない感性を一人ひとりが身に付けることができるように、今後も学校、地域、家庭が一体となった人権・同和教育が必要です。自分の心を見つめ、差別をなくす生き方を考えていくことを基盤に、共に学んでいく第一歩が大切です。

